

地域とともに 患者さんとともに

新日本窒素労働組合60年の軌跡



新日窒労組資料公開記念

- 水俣展** 2010 1/8 金 - 1/21 木
水俣市婦人会館・水俣学現地研究センター
- 東京展** 2009 10/30 金 - 11/8 日 法政大学市ヶ谷キャンパス
- 大阪展** 2009 11/17 火 - 11/29 日 大阪人権博物館
- 熊本展** 2009 12/7 月 - 12/20 日 熊本学園大学

主催：熊本学園大学水俣学研究センター
共催：法政大学大原社会問題研究所
大阪人権博物館

 熊本学園大学水俣学研究センター
〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号 TEL: 096(364)5161(代) URL: <http://www.kumagaku.ac.jp/minamata/>

チッソ水俣工場の

労働組合の記録

この度、多くの方々のご尽力によって、世界初、最大の工場排水による人的被害（公害）を引き起こしたチッソの工場労働組合の貴重な記録を公開・展示することができました。まさに「史上初の公害を引き起こした企業」の労働組合の資料の公開です。

栄光の労働組合から公害企業の労働組合（公害と闘う労働組合）への軌跡が展示される稀有で貴重な資料展示です。そこからは、わが国の近代化、工業化、戦後の復興から高度経済成長と日本の歴史を象徴的に読み取ることができると思います。

水俣学現地研究センター長
原田正純

展示構成

- 第1部 江戸時代の水俣
- 第2部 水俣市街の形成と日本窒素の創業
- 第3部 日本窒素労組結成と身分制撤廃闘争
- 第4部 安定賃金粉碎闘争
- 第5部 長期抵抗闘争
- 第6部 水俣病患者と新日窒労組
- 第7部 組合の日常

水俣展 2010 1/8金 — 1/21木

水俣市婦人会館・水俣学現地研究センター

開館時間：月～金 10:00～18:00 土・日・祝 10:00～17:00 入場料無料

記念講演 1/16 土 14:00～16:30

会場：水俣市公民館2F 大ホール

講師：佐高 信（きたかみ ことしはか）

1945年山形県酒田市生まれ。高校教師、経済雑誌の編集者を経て評論家に。「社会」という言葉で日本の企業社会の病理を徹的に、会社・経営者批評で一つの分野を築く。経済評論にとどまらず、憲法、教育など現代日本について辛口の評論活動を続ける。著書に「企業と人間—労働組合、そしてアフリカへ」（岩波ブックレット、2000年）、「村山談話」とは何か」（角川書店、2009年）など多数。

水俣学現地研究センター

〒867-0065
水俣市浜町 2-7-13

水俣市婦人会館

〒867-0055
水俣市浜町 3-9-33

【お問い合わせ】

水俣学現地研究センター

☎ 096-364-8913

または水俣学現地研究センター

☎ 0966-63-5030



【交通アクセス】

- 新水俣駅より 自動車利用 10分
水俣産交バス（水俣港行、水俣産交行）「図書館前」下車徒歩 3分
- 肥薩おれんじ鉄道水俣駅より
自動車利用 8分
みなくるバス「水俣郵便局前」下車徒歩 5分
- 熊本駅より 新幹線・特急利用 1時間 ●鹿児島中央駅より 新幹線利用 30分

東京・大阪展に大きな反響

10月30日から始まった法政大学での東京展、大阪人権博物館での大阪展に各方面から注目があつまり、マスコミ各社も大きく取り上げた。主な掲載紙誌は次のとおり。

- 『朝日新聞』10月26日 『The Japan Times』10月31日
- 『東京新聞』10月3日・10月26日 『西日本新聞』9月12日・10月31日
- 『熊本日日新聞』10月28日・10月31日 『毎日新聞』11月20日
- 『週刊金曜日』10月23日 『労働新聞』10月1・15日



『朝日新聞』10月26日号と『The Japan Times』10月31日号